

第30回記念 中部児童・生徒硬筆席書大会

今年も左記のとおり、中部児童・生徒硬筆席書大会を開催します。中学生以下なら、だれでも参加できますから、お友だちみんなに呼びかけてご参加下さい。

- 一、期 日 平成二十一年五月六日(水・祝)
- 一、受 付 午前九時半から十一時半まで
(所要時間〓一回約三十分)
- 一、会 場 土岐市文化プラザ(土岐市役所隣り)
- 一、参加料 五〇〇円
- 一、用 具 黒色サインペン(各自持参すること)
席書用紙三枚を当日全員にわたします。
- 一、課 題 下段の文章で、変換をしないこと
- 一、成績発表 七月号誌上 中日新聞紙上(予定)
- 一、作品展会場 セラトピア土岐 二階小ホール
- 一、作品展会期 平成二十一年五月十六日(土)十一時～十七時
十七日(日)九時～十七時
- 一、褒 賞 記念大賞・大賞・準大賞・記念賞・会長賞※岐阜県知事賞※土岐市長賞※土岐市教育長賞※岐阜県教育委員会賞※名古屋市長賞※土岐市議会議長賞※東濃各市教育委員会賞※岐阜県教育文化財団理事長賞※中日新聞社賞・大書心会賞・理事長賞・師範会賞・特選・奨励賞・金賞・銀賞(※申請中)

申込方法

五名以上の団体は予約制となりますので、大書心会事務局まで、お申込み下さい。なお、個人参加は当日受け付けいたします。

- ※参加者全員に、お楽しみ抽選プレゼントあり!!
- ※引率の方にもお楽しみコーナーがあります。
- ※モニタールームにて、お子さんの揮毫風景をご覧いただけます。
- ▽授賞 作品展開催中、会場で参加証と引換えにお渡しします。

席書大会課題

新小4年	新小3年	新小2年	新小1年	幼 年
美 書 て 気 し い 持 い た ち ね 文 ね 字 字 文 は 字 字 は 字 字	字 し 書 は を っ き ね か か じ や こ 考 ん 止 う え も め	て 一 も 正 い 字 ち し ね ず か い い つ た し に っ た せ に っ た せ に っ た せ	一 か な う ね け ま つ ん け え く せ ね を し い ね を し い ね を し	し た も に よ たい じ ほ う せ つ を ん う に っ の

※席書大会当日は、活字の課題を配りますが、それ以外の手本等は、いっさい見てはいけません。しっかり習っておいて下さい。

新中2・3年(行書)	新中1年(楷書)	新小6年	新小5年
私 先 将 よ の 生 来 く 夢 に は 勉 で なる 書 強 す の の 道 して	こ 人 書 魅 と 間 く 力 が 性 た ある 大 を ため 字 切 高 は 有 で め には 意	書 日 す 正 く 常 べ 速 こ の て 速 と 文 そ 美 が 字 ろ 美 目 字 ろ 美 標 を た 美	伝 深 手 心 わ い 紙 の っ っ 紙 の て っ っ っ き っ っ っ ま っ っ っ す っ っ っ

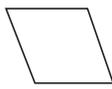
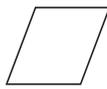
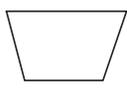
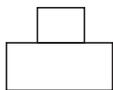
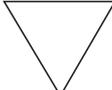
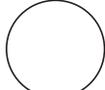
※左の課題はサインペン書きの肉筆手本です。

- ▼原寸大手本(コピー) 一枚……五〇円
- ▼席書用紙 一冊……七〇円

※いずれも送料実費

楷書の形のとり方(2) 締切り 三月二十五日(必着)

奥村憲照先生書

菱形	平行四辺形 (左斜体)	平行四辺形 (右斜体)	◆外形 逆台形
			
寺 令	我 式	夕 母	口 田
◆上下左右の 関係 上凸形	逆三角形	三角形	円形
			
思 星	下 丁	上 在	安 楽

(出品例)

支筆 部 名	我	夕	口
	式	母	田
段・ 単位			
	上	安	寺
氏名	在	楽	令
		思	下
		星	丁

【お願い】 出品数が大幅に増加しました。事務処理の正確を期すため、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績をご記入くださるようお願いいたします。

◎初心者向けの内容が好評でしたので今月からペン字の基本を四カ月に分けて学びます。お手本は、奥村憲照先生書「ペン字の手ほどき」から掲載しました。

◎毛筆での出品も、もちろん可能です。用具は何であれ「形のとり方」は共通です。

◎字形を美しく整えるために、古くから上のような基本法則があります。これらを身につけておけば、どの漢字でもバランスよく書けるようになります。基本法則を意識しながら繰り返し学んで、体に覚えこませましょう。

◎作品の出し方

上掲の図版で示した四行を書いて下さい。

▼硬筆部 一般部級用紙に上図のよう

に書いて下さい。

※用具は自由(黒色に限る)

▼毛筆部 半紙に四行に書いて下さい。

▼出品制限の対象とはしませんが、どのあたりでも出品できますが、硬・毛筆のどちらか一方に限ります。

▼優秀作品数を、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

準初段から六段まで

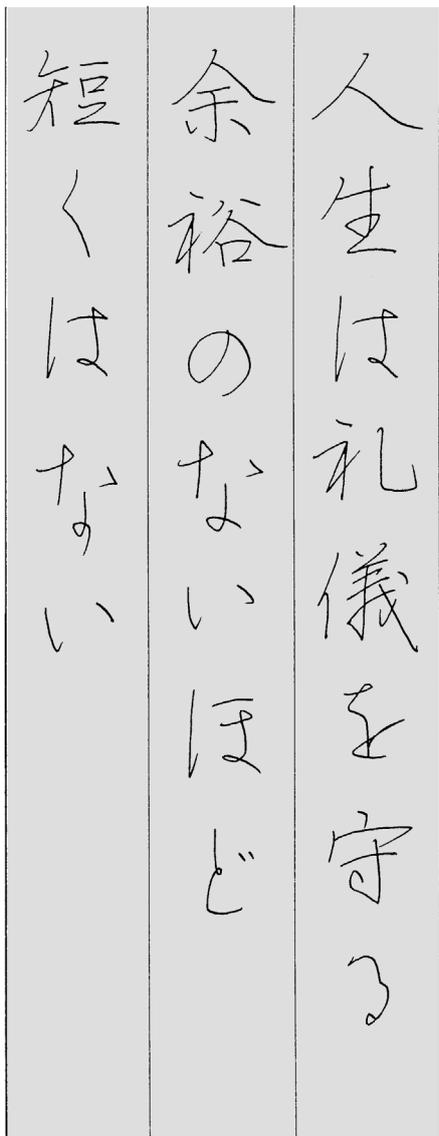
新入から1級まで

〔解説〕



動きのあるように暢達な線で運ペンする

▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

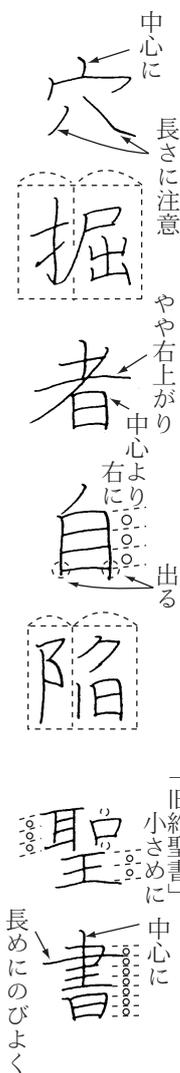


おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆4月課題予告(楷書)

聡明な人間は

旅によって見事に

自己を形成していく

▼教範・書範⇨行草または草書

▼師範⇨行書

★人生は…(書体⇨行書)

エマーソン(一八〇三〜一八八二)

アメリカの思想家・詩人

牧師でもあったエマーソンは、キリスト教道徳の立場から、礼儀に厳しい見方をしていました。

人は、日常の立ち居振る舞いはもちろん、人間としての礼儀をわきまえることが大切で、人生には、それを身につけるための十分な時間があるといっています。

★穴を…(書体⇨楷書)

旧約聖書(伝道の書十・8)

『旧約聖書』の昔、動物を捕えるための最も原始的な方法は、落とし穴を掘って動物が落ちるのを待つことでした。しかし、その罠に自分がかまるとがあります。それになぞらえて、悪だくみや陰謀を企てて人を陥れようとする、それは自分に返ってくるものと戒めています。

◆4月課題予告(行書)

その言行己より

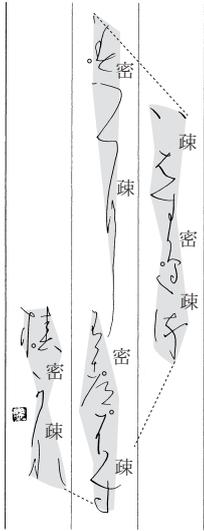
賢れる者は

以て師とすべし

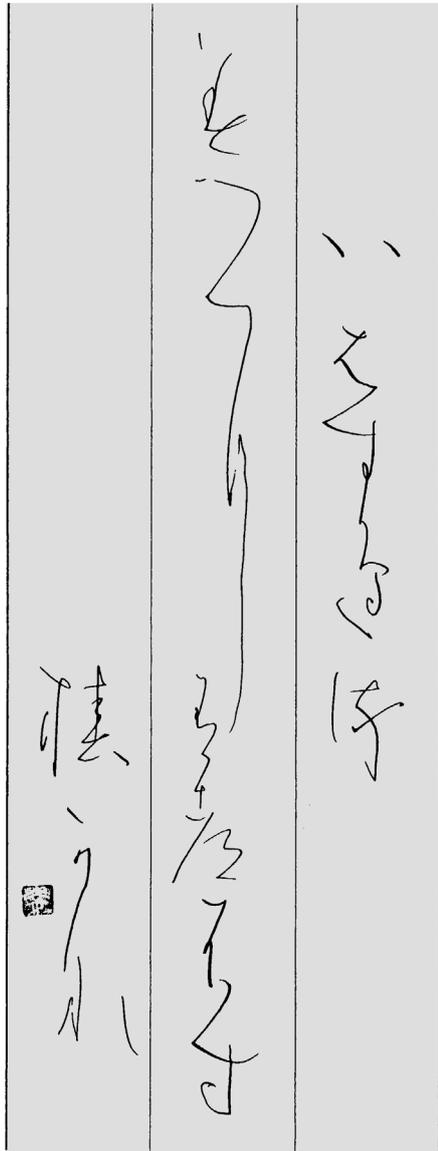
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



岩すべる水にうつぶす椿かな

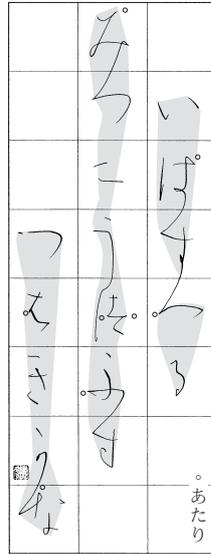


おぎ 荻 田 蒼 せん 仙 書

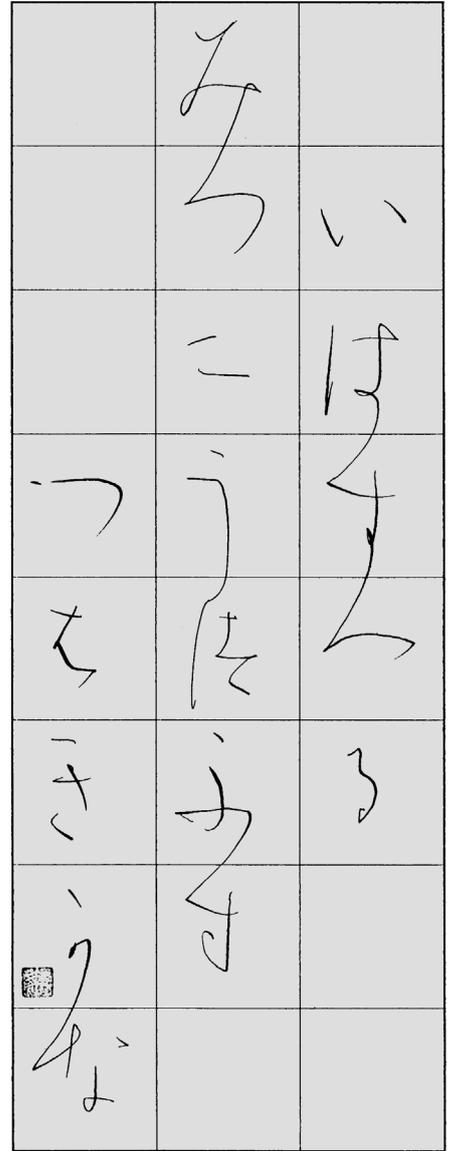
▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



岩すべる水にうつぶす椿かな



おぎ 荻 田 蒼 せん 仙 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

岩すべる水にうつぶす椿かな (高野素十)

〔句意〕岩の上をすべるように水が流れている。藪椿がうつぶせに落ちている。山峡の光景です。

〔級位ワン・ヒント〕

かなには基になっている漢字があるわけですが、原型の字母をよく理解してからとりかかって下さい。さもないと、とんでもない形になることがあります。ペンが指から離れ程度に軽く持って書くことにも馴れて下さい。細太の線によって景色づくりが必要だからです。初心の方は、固く持つと重くて伸びのない線になる場合があります。

第二画を重ねないで少しはずす
向きもむかいあう

転折をするとく

狭くならないように

「き」を切る場合は、
「き」から「可」へ続
ける場合、はいらな
い、がいらいます

〔段位ワン・ヒント〕

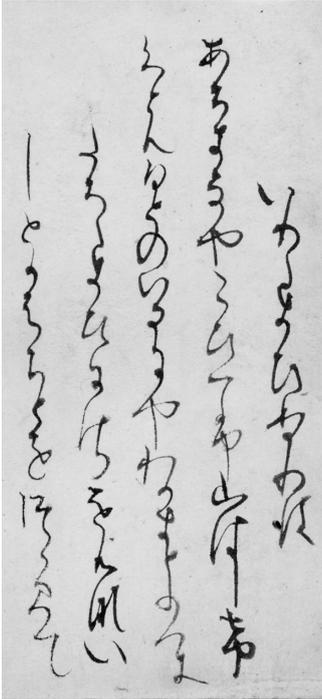
例によって漸増漸減方式、隣の行との変化、響き合い等を考えましたが、今月は横画を極力右上がりを抑えて行の流れをよくするように心掛けました。そして横画の使用を、その流れっぱなしを止める意味で使ってみました。理屈はどうあろうと作品がよくなければいけない事は解っているのですが、手本としては厚顔の至りです。

◆4月課題予告

馬の尾やひらりとかはす乙鳥

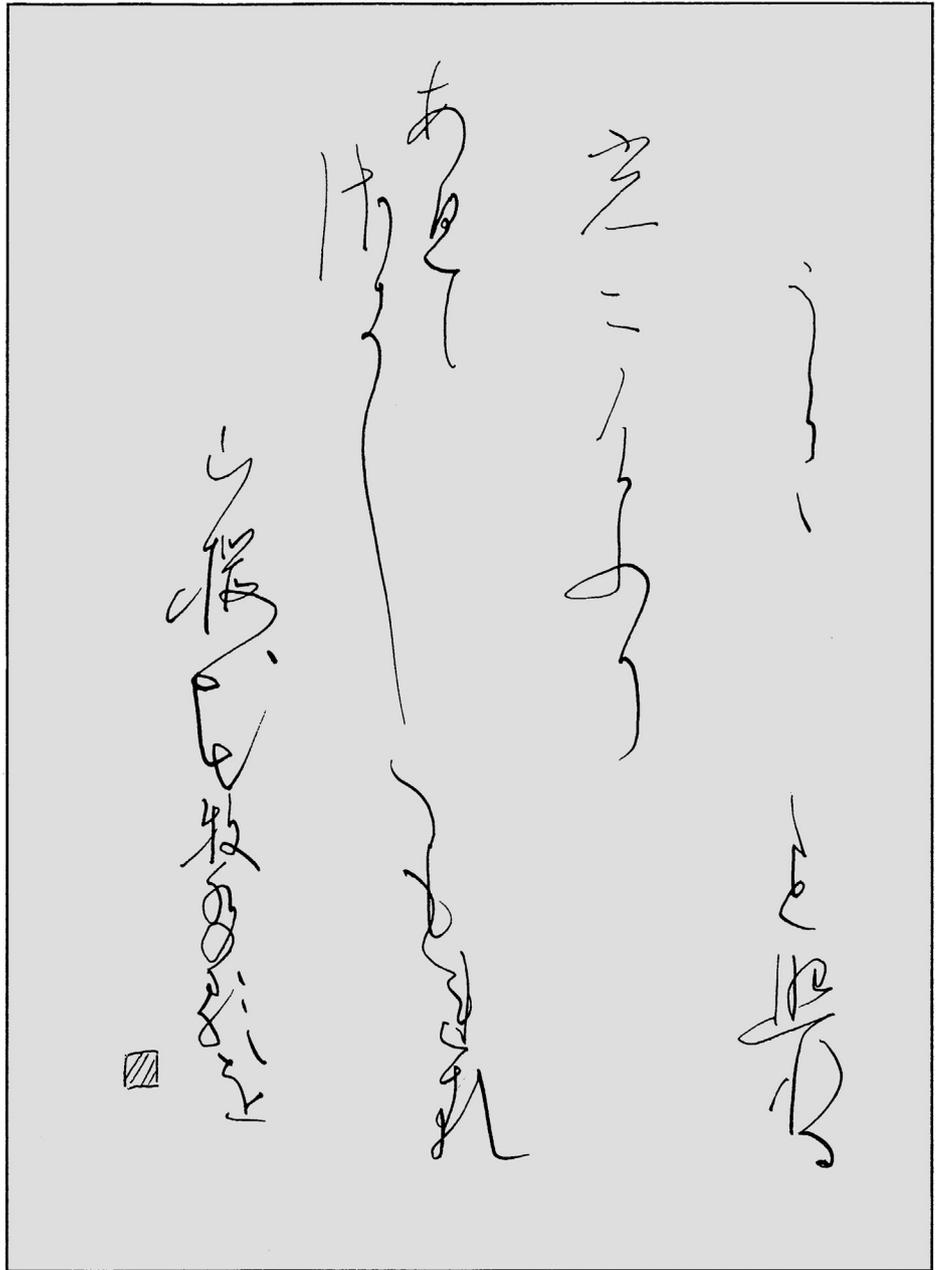
(正岡子規)

〔古筆参考〕
一条撰政集



いりたまひぬれば
あぢきなやこひてふ山はしげ
くともひとのいるにやわがまだふべき
たちたまひにけり、をむな、い
しとかはらとをつゝみて

締切り 三月二十五日(必着)



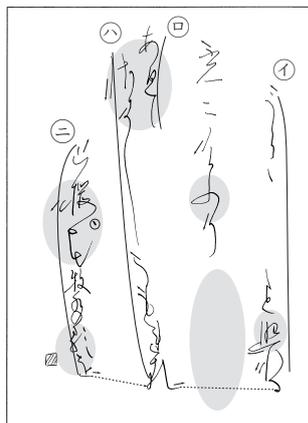
築瀬舟香書

うらうらと照れる光にけぶりあひて
咲きしづもれる山ざくら花
牧水の歌を

〔歌意〕うらうらに照っている春の光
の中で花々はたがいにぼうっと薄くか
すんで咲き静まりかえっている。その
静かな満開の山桜よ。

〔出典〕名歌即訳 若山牧水

〔解説〕



①と②、①と③、①と④、①と⑤、それぞれ
呼应。

● 墨の動きに注意。

○ 大きな間↓余白大切。

● の方向大切、「花」の○の位置で
余白をしめる。

「一条撰政集」について(二)

この古筆本の大きさは十三・二センチ
×十二・二センチの小さな枳形本の
歌集であると同時に自記の歌物語です。
一条撰政集の特徴は「気負いや飾り
気のないありのままの人間の姿を、か
ろやかに自然な表現で書かれているこ
とです。これがこの古筆の魅力といえ
るでしょう。」

◆4月課題予告

白鳥はかなしからずや空の青
海の青にも染まらずただよふ

(若山牧水)

締切り 3月25日(必着)

子供たちが、結婚、就職と一度に
独立し、私もとうとう子育て卒業
です。急にたくさん時間が出て
どう過ごそうかと思案中ですが、
まずは、主人と二人でのんびりと
温泉巡りでもと思っています。

子供たちが、結婚、就職と一度に
独立し、私もとうとう子育て卒業
です。急にたくさん時間が出て
どう過ごそうかと思案中ですが、
まずは、主人と二人でのんびりと
温泉巡りでもと思っています。

◎手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

お か じ ま け い せん
岡 嶋 桂 川 書

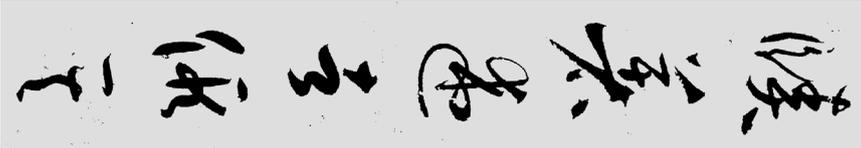
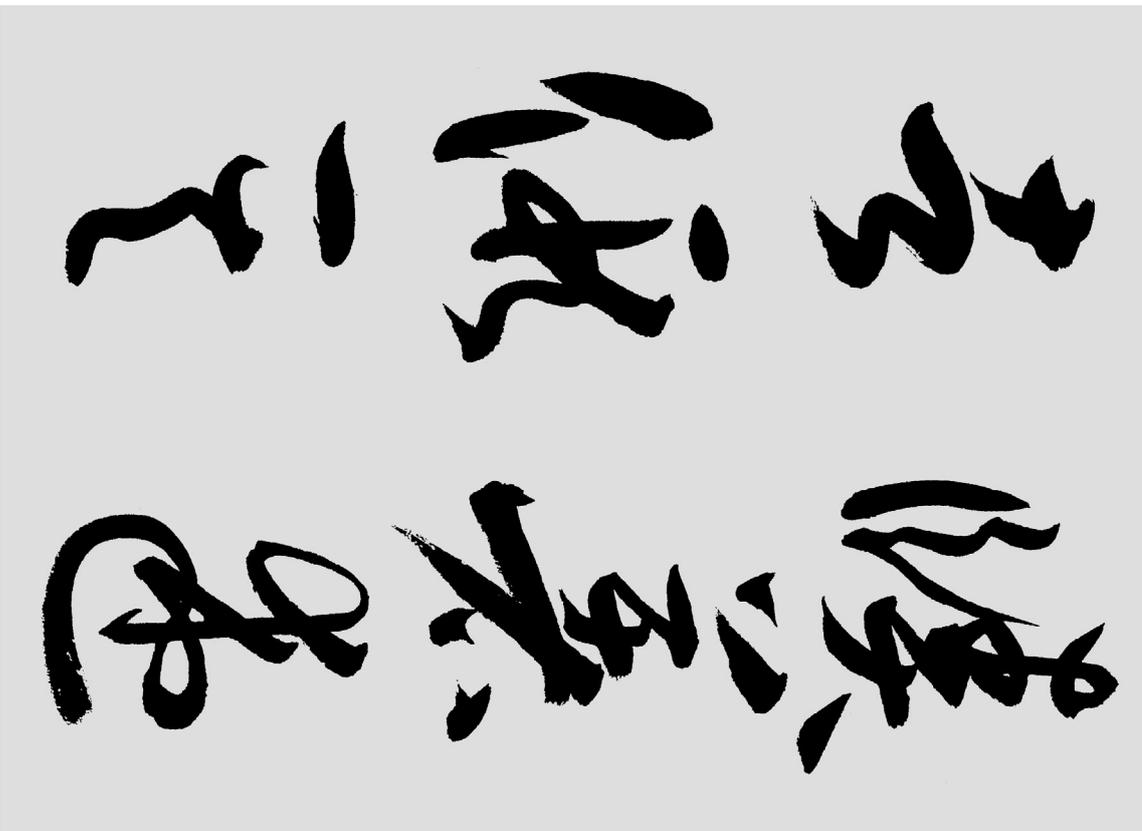
鶯は、春告鳥の異称もあるように
春の訪れを告げる代表的小鳥です。

石川県金沢市 氏 名

※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 3月25日 (必着)



蹟 著 述 者 假 其

【出典】 書譜 (687) 【筆者】 孫過庭 (648?~703?)
【読み】 蹟を(得んとす。)著述する者は其の(糟粕を)仮り、

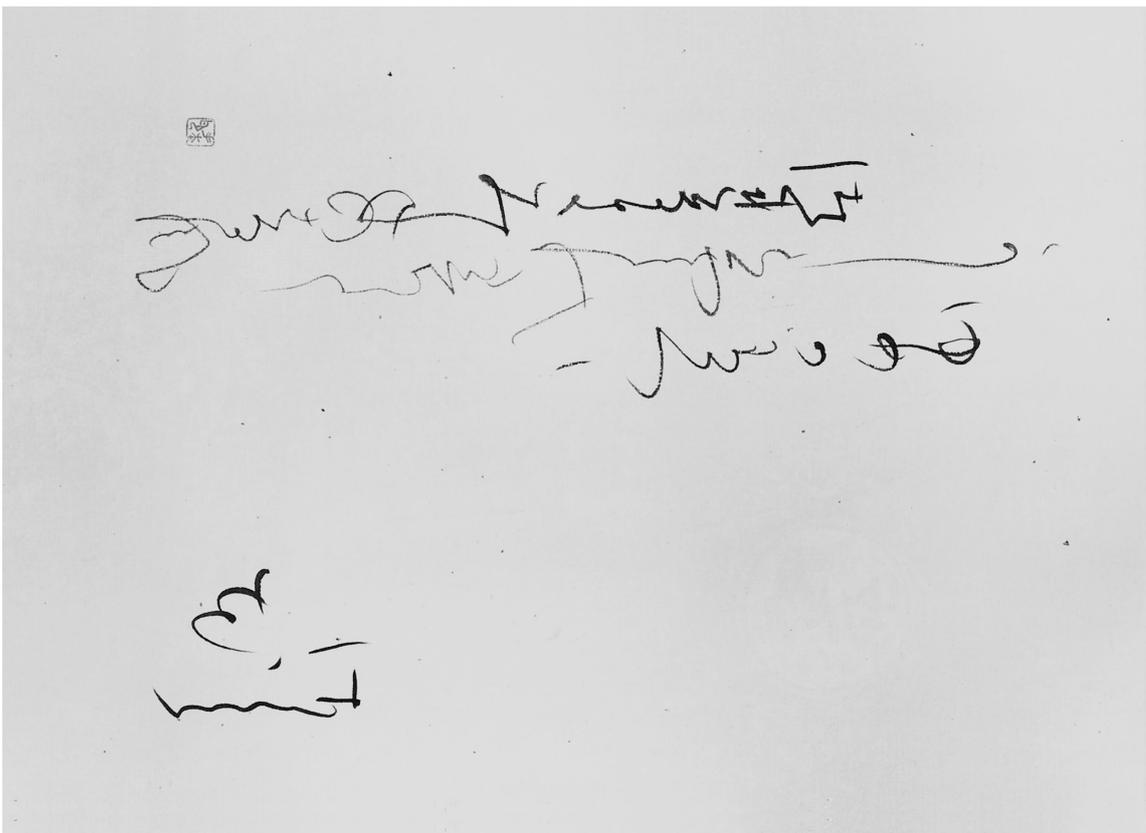


新入から1級まで (楷書) 澤 静 雨 書

【読み】 池塘生春草
【大意】 池のはたに春の草が萌え出でる。

一般部毛筆かな課題

締切り 3月25日 (必着)



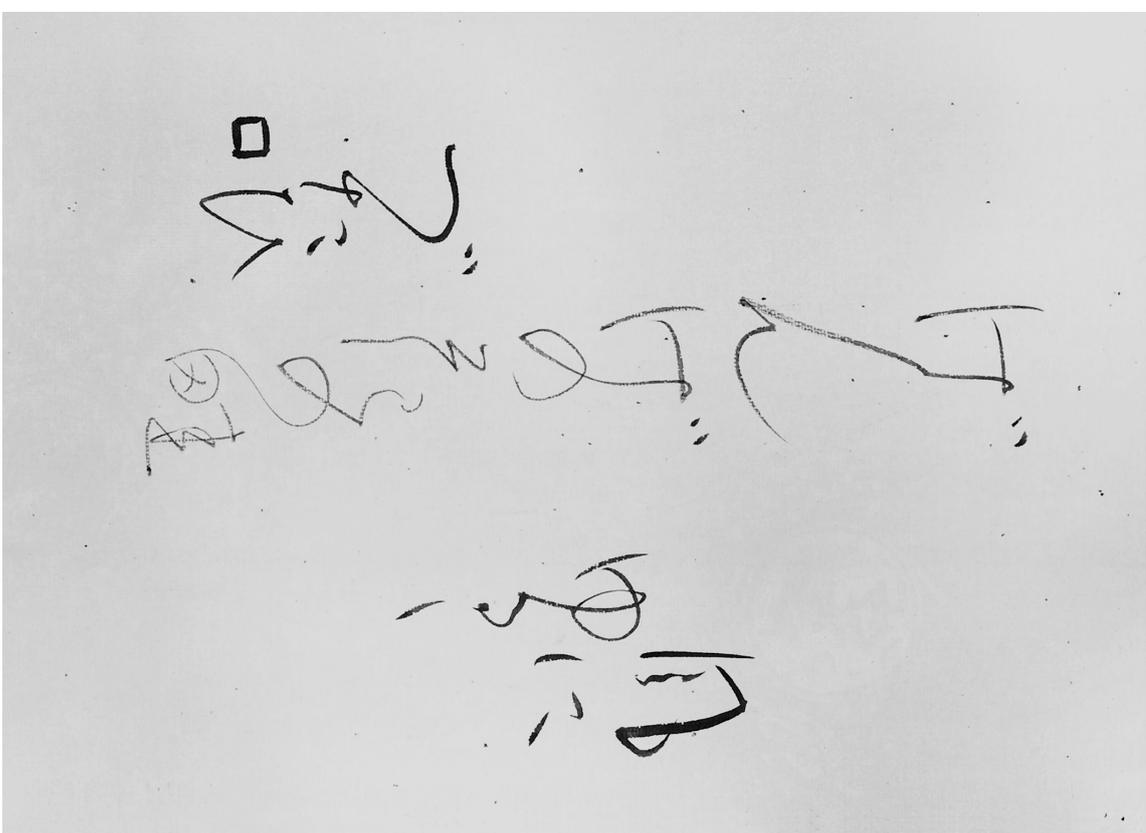
準初段から師範まで

桜花夢か現か白雲の峰の春風
桜花夢か現か白雲の峰の春風
たえてつれなき峰の春風

〔出典〕 新古今和歌集 藤原家隆

〔歌意〕 桜の花は夢であったのか、現実であったのか。白雲のように見

えていた遠山の花は消えつくして、全くつれなく吹き渡る峰の春風であるよ。



新入から1級まで

浅井機山先生書
浅井機山先生書

〔出典〕 星野立子

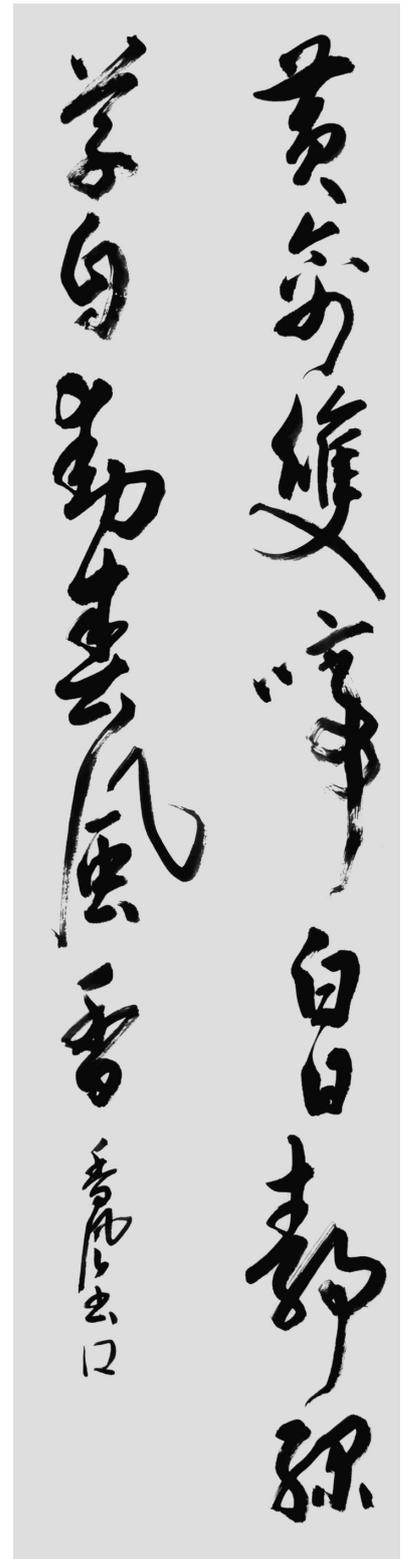
〔句意〕 田一面にげんげの花が咲き乱れている。田を渡る風にゆれて美

しい。畦づたいにながめつつ行くのである。春の散策の楽しさの表われた句。

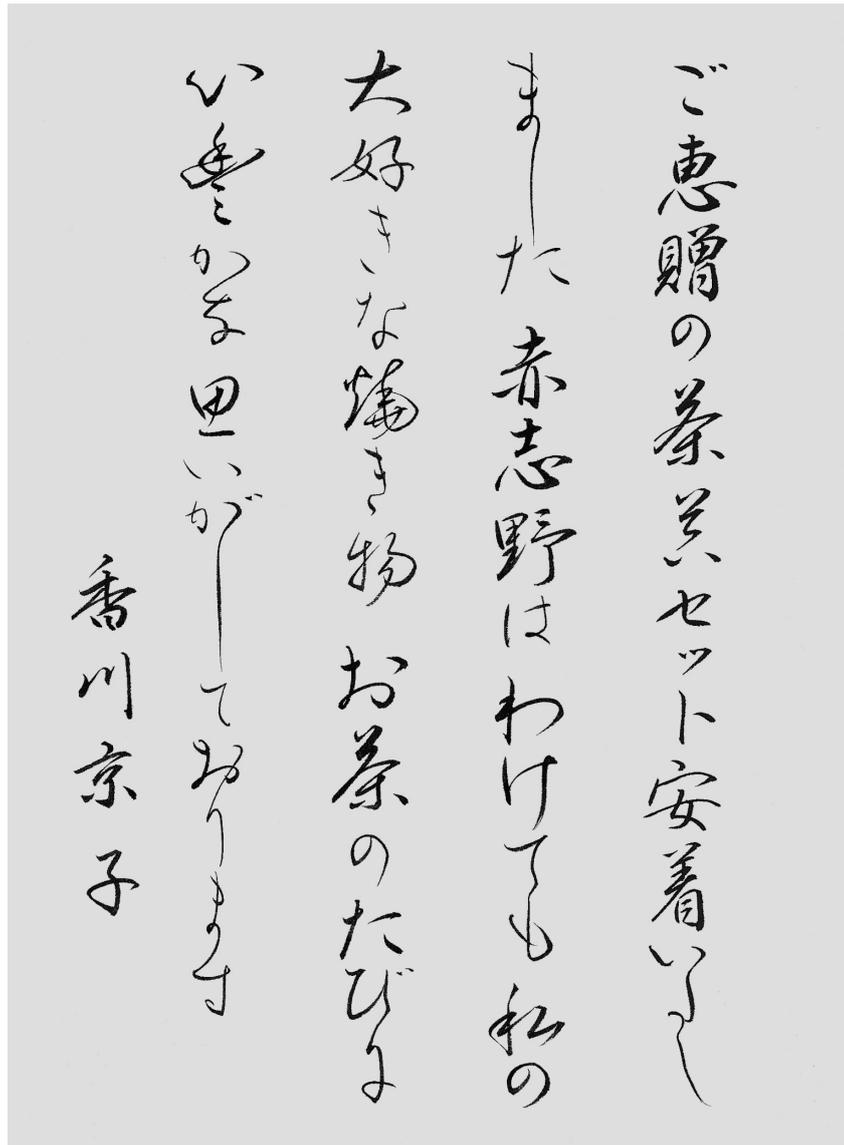
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題

締切り 三月二十五日(必着) 半切(一三六cm×三五cm)



新井清泉書



半紙 (334mm×240mm)

書 兆 春 宮 大

〔古典字例〕



〔条幅解説〕 創作への展開 (角川書道字典より)

初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〔大意〕 うぐいすは
二羽鳴きかわして昼
いと静かに、青い色
の草は自然にゆれて
吹く春の風もよい香
がする。

黄 禽 雙 啼 白 静
線 草 自 動 春 風 香
丁 復

ご惠贈の茶具セット安着いたし
ました。赤志野はわけても私の
大好きな焼き物。お茶のたびよ
心豊かな思いがしております

(ご自分の氏名)

・印で墨つきしました。

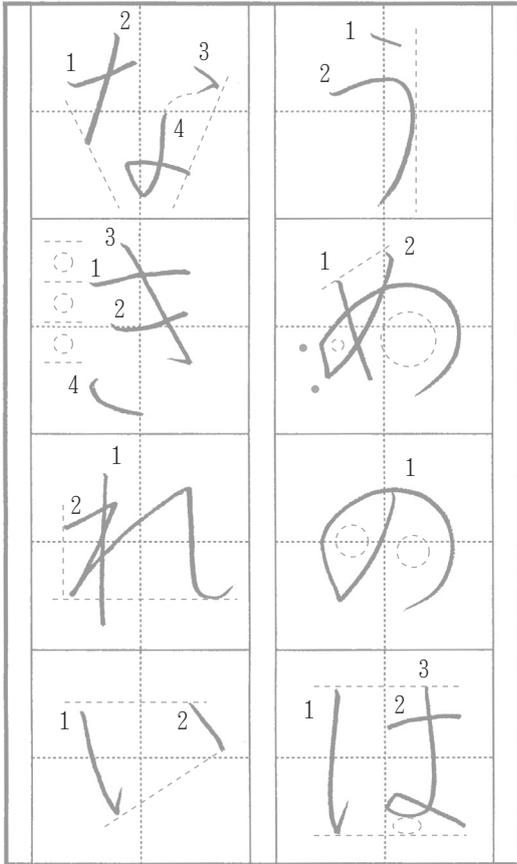
〔条幅・細字作品の出し方〕

■ 新入から師範まで、どなたでも出書できます。

■ 成績(天位5等)は、評価により毎月変わります。

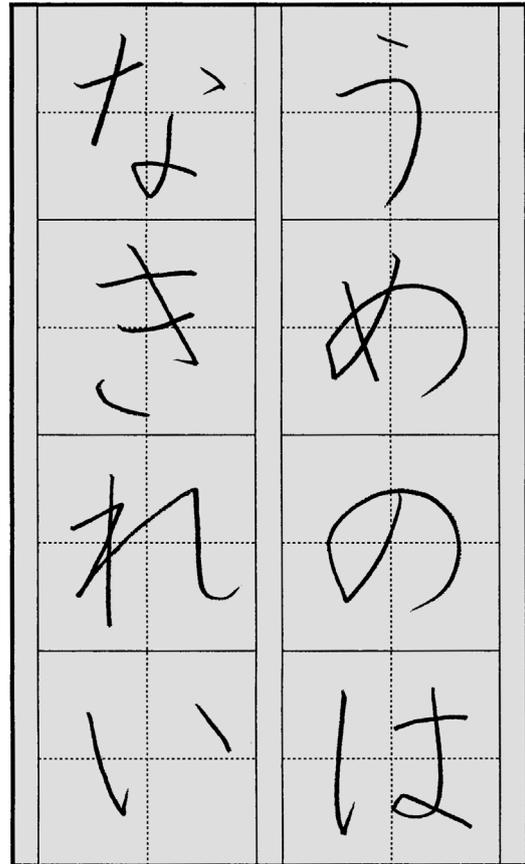
■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〈ようぐく〉自由(黒色にかざる)



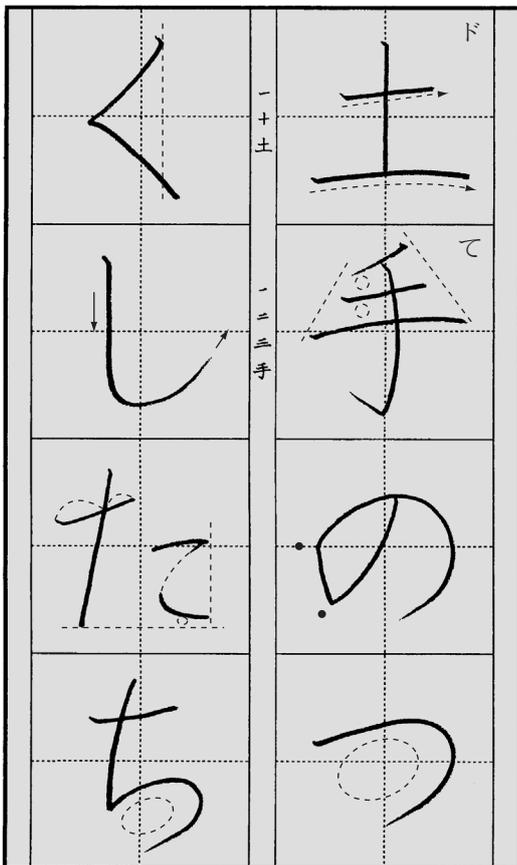
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



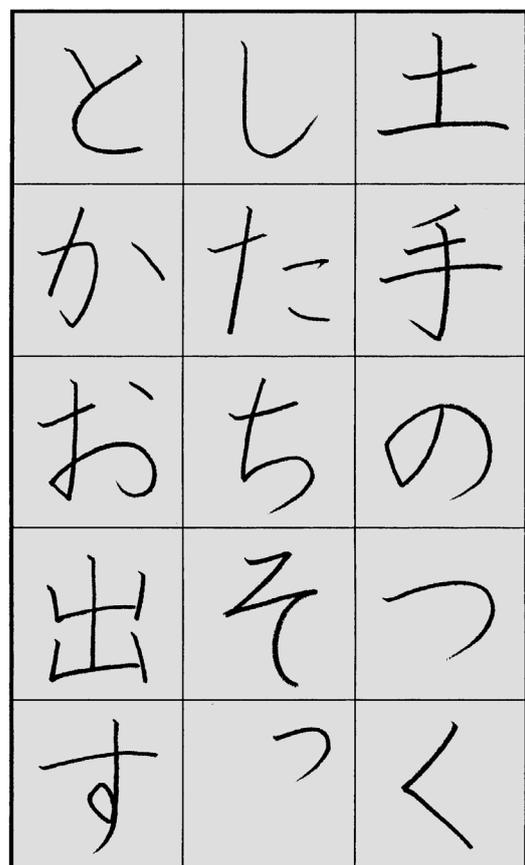
よ
う
年

小三年まで
三宅容玉書



新入1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

自由(黒色にかきこむ)

鳴	う
く	ら
ま	山
じ	で

新入1級

が	く	う
聞	き	ら
こ	じ	山
え	の	で
る	声	鳴

小二年

準初段以上

思	歌
い	っ
出	た
に	曲

新入1級

出	た	級
に	曲	友
の	が	と
こ	思	歌
る	い	っ

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

は	ひ
大 <small>ダイ</small>	な
成 <small>セイ</small>	祭 <small>まつ</small>
功 <small>コウ</small>	り

新入1級

り	つ	案
は	た	を
大	ひ	出
成	な	し
功	祭	合

小四年

準初段以上

小四以上
尾郷翠光書

野 <small>ヤ</small>	群 <small>むれ</small>
馬 <small>うま</small>	勢 <small>いきお(い)</small>
	走 <small>はし(る)</small>
	広 <small>コウ</small>

解説(よく見て習いましょう)

る	勢	群
広	い	れ
野	よ	を
の	く	な
馬	走	し

小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

小六年

客	宿	秘
が	に	境
集	湯	の
ま	治	温
る	の	泉

(全員)

解説(よく見て習いましょう)

宿 <small>ヤド</small> ホヤド宿宿	秘 <small>ヒ</small> オオ秘秘秘秘
湯 <small>トウ</small> シヨ湯湯湯湯	境 <small>キョウ</small> オオ境境境境
治 <small>ジ</small> シヨ治治治治	温 <small>オン</small> オオ温温温温
客 <small>キヤク</small> ホオ客客客客	泉 <small>セン</small> オオ泉泉泉泉

へようぶく自由(黒色に限る)

中一年 (行書)

料	前	遺
を	に	跡
調	本	巡
べ	で	り
る	資	の

中二・三年 (行書)

取	運	春
得	転	休
す	免	み
る	許	中
兄	を	に

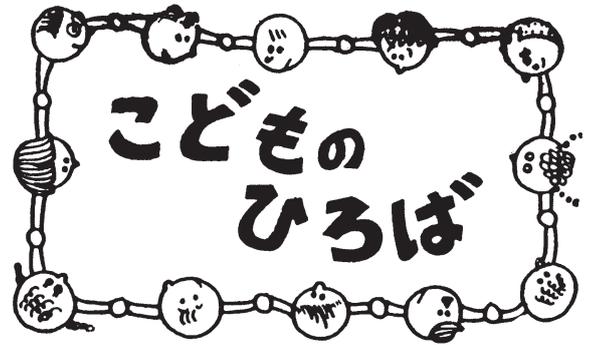
◎お手本は、15マスはつけペン、8マスはデスクペンで書きました。

▼小三年以下の課題 飯沼順光 書

さ	た	さ	入	春					
か	く	く	学	が					
せ	さ	ら	式	近					
る	ん	の	に	づ					
か	の	木	は	き					
な	花	も							
	を								



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 3月25日(必着)

習っていない漢字は、
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 大坪美紀 書

春	の	緑	山	暖					
の	ぞ	が	の	か					
兆	か	顔	雪	な					
し	せ	を	も	日					
	る		解	差					
			け	し					
				に					



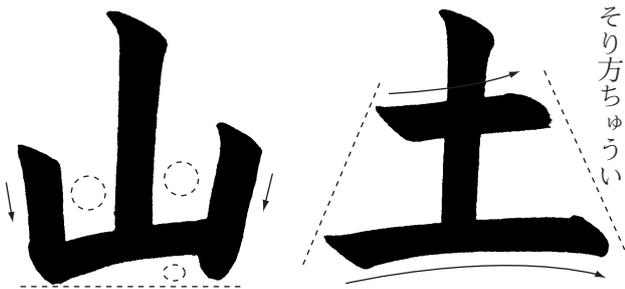
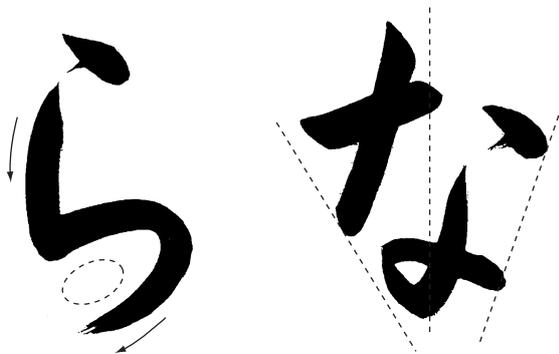
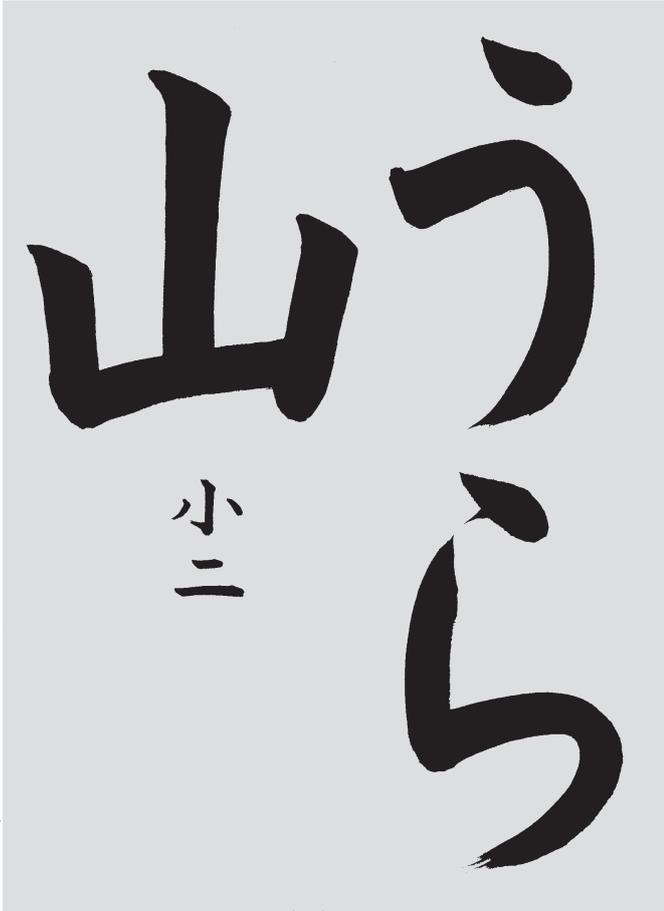
◎お手本はつけペン使用

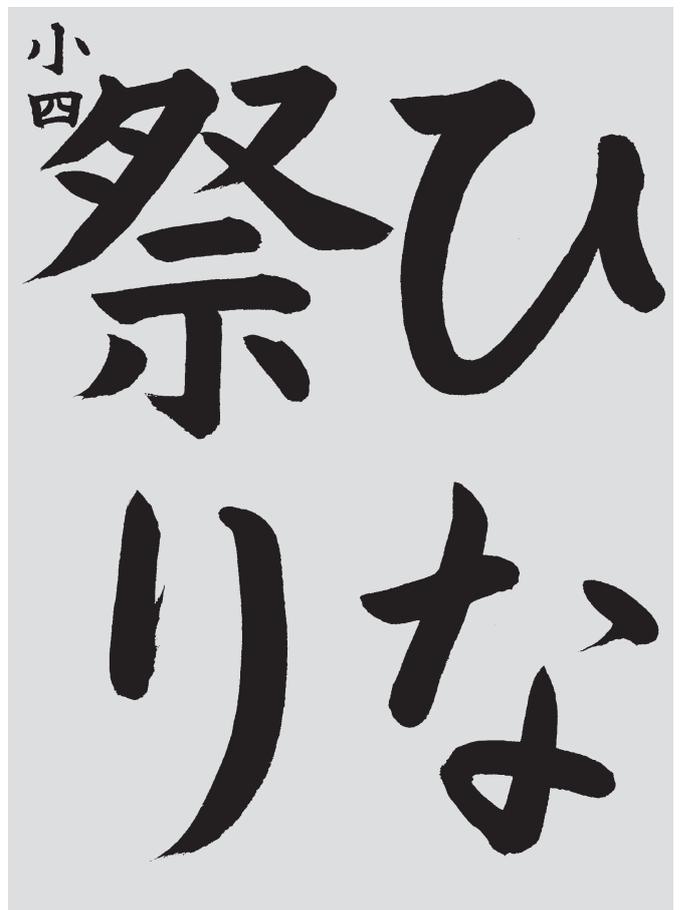
◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、低学年は四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



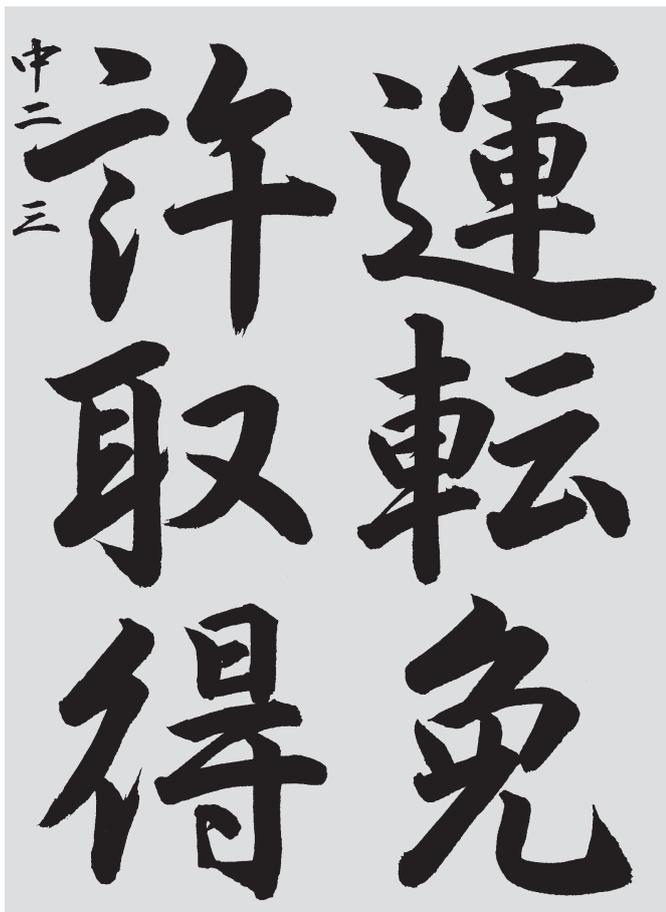
幼年す小二年
玉樹たまき
小華書しょうか





小三、小五年

水野の香竹書



小六、中二・三年

奥村暢之書

